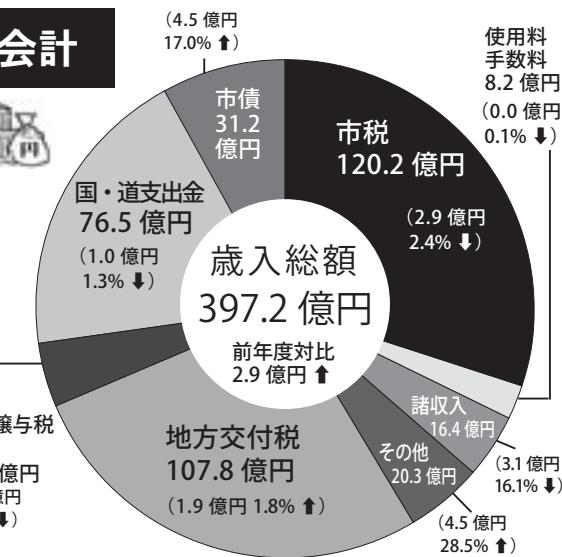
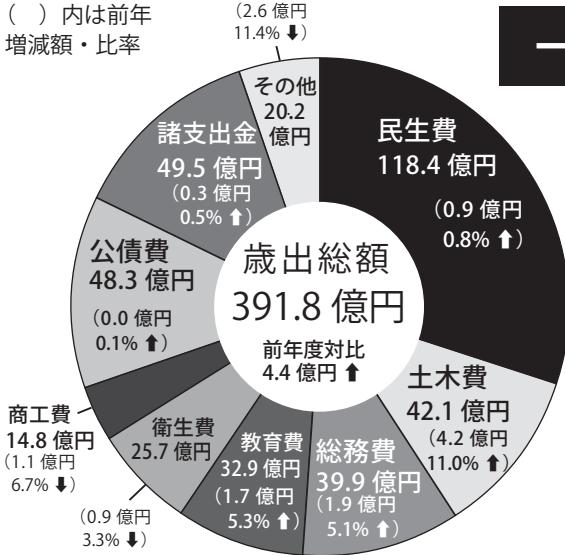


平成24年度の決算

平成24年度の各会計決算がまとまりました。皆さんに納めていた事業や財政状況の概要をお知らせします。



() 内は前年
増減額・比率



* 職員給与費は、目的別に分類しています。

※ 個人・団体合わせて3,378千円の寄附金がありました。
環境・福祉・教育事業など、寄附の趣旨に沿って活用します。

科 目	内 容
民生費	児童手当、後期高齢者医療費といった医療・福祉の費用など
土木費	道路、橋りょう、公園、除雪、治水など
総務費	戸籍・住民基本台帳、庁舎管理など
教育費	義務教育費、体育館、図書館など
衛生費	健診、予防接種、ごみ処理、火葬場、墓地など
商工費	商工業、消費者保護、観光など
公債費	地方債の元利償還金など
諸支出金	特別会計への繰出金など
その他	議会、労働、農林水産業、消防

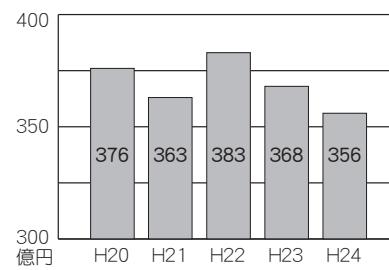
科 目	内 容
自 主 財 源	市税
	使用料・手数料
	諸収入
	その他
依 存 財 源	地方交付税
	地方譲与税など
	国・道支出金
	市債

① 入湯税・都市計画税の使われ方

入湯税	
環境衛生施設の整備 (875千円)	水質検査設備など (下水道事業会計繰出金)
消防施設等の整備 (875千円)	消火栓の更新整備など
観光振興 (874千円)	地域プロモーション推進事業など

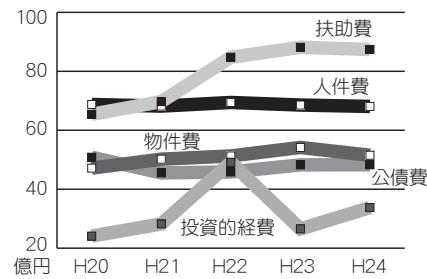
都市計画税	
公園事業 (100,650千円)	公園管理事業など
下水道事業 (790,629千円)	雨水管の整備など (下水道事業会計繰出金)
土地区画整理事業 (58,603千円)	江別の顔づくり事業など

② 市債残高の推移（一般会計）



市債残高は、減少傾向にあります。平成22年度は土地開発公社解散のための借入があり、一時的に増加しました。

③ 歳出の推移



平成24年度は、前年度に比べ投資的経費が江別の顔づくり事業や新栄団地の建替事業などにより増加しました。

今夏、市では7月1日から9月30日までの3ヶ月間、市の115施設で、平成22年度同期間比で11%以上の節電を市独自の努力目標として節電に取り組みました。その結果、平成22

市の節電取り組み状況

(1) 車をゆっくり発進させる(アクセルを弱めに踏み込む)ことで、燃料消費量を約11%減らせます。

(2) 車を停止させる前に早めにクセルを離すことで、燃料消費量を約2%減らせます。燃費消費量を減らすことは、ガソリン代の節約にもつながります。



● エコドライブ

運転方法を見直すことで自動車の燃費を良くし、環境への負荷を減らすことが「エコドライブ」です。車をゆっくり発進させる(アクセルを弱めに踏み込む)ことで、燃料消費量を約11%減らせます。

(1) 車を停止させる前に早めにクセルを離すこと(2)燃費消費量を減らすことは、ガソリン代の節約にもつながります。



● 冬のエコスタイル・ウォームビズ

国では、暖房時の室温が20℃でも快適な「ウォームビズ」を呼び掛けています。重ね着をしたり、温かいものを食べたりするほか、ひとつの部屋に集まる「ウォームシェア」も暖房エネルギーによる電気の節約に効果的です。

エコライフルのすすめ

冬もエコを!



地球温暖化防止のためには、エネルギー消費に伴う二酸化炭素の排出量をいかに抑えるかが重要な課題で、私たち一人ひとりの取り組みがとても大切です。より環境にやさしいライフスタイルを実践しましょう。

費に伴う二酸化炭素の排出量をいかに抑えるかが重要な課題で、私たち一人ひとりの取り組みがとても大切です。より環境にやさしいライフスタイルを実践しましょう。

特別会計

項目	歳入	歳出	差引収支額
国民健康保険	13,690,801	12,956,367	734,434
後期高齢者医療	1,388,930	1,385,235	3,695
介護保険	7,661,390	7,592,321	69,069
基本財産基金運用	391,945	391,220	725

健全化判断比率

※早期健全化指標（黄信号）の数値を超える項目はありませんでした。

4 指標	江別市の健全化判断比率	早期健全化基準 (黄信号)	財政再生基準 (赤信号)
実質赤字比率	該当なし	12.13%	20.00%
連結実質赤字比率	該当なし	17.13%	30.00%
実質公債費比率	11.7%	25.0%	35.0%
将来負担比率	37.6%	350.0%	

企業会計

※()内は
前年増減数

※ 水道・下水道事業の決算詳細は、16ページを参照

水道事業	
業務の状況	
給水人口	120,502人 (Δ 487人)
総給水量	11,483,822m ³ (+ 1,511m ³)
有収水量	10,658,502m ³ (Δ 115,536m ³)
決算の状況	
収益的収支の決算	
収 入	2,370,262 千円
支 出	2,079,951 千円
資本的収支の決算	
収 入	216,596 千円
支 出	971,878 千円

下水道事業	
業務の状況	
処理区域内世帯数	53,127戸 (+ 361戸)
総処理水量	17,804,750m ³ (△ 595,862m ³)
有収水量	10,940,678m ³ (△ 113,157m ³)
決算の状況	
収益的収支の決算	
収 入	2,674,513 千円
支 出	2,464,240 千円
資本的収支の決算	
収 入	1,329,940 千円
支 出	2,582,936 千円

病院事業	
業務の状況	
入院	91,436人(△2,638人) (診療日数365日) 250.5人/日(△65人/日)
外来	188,347人(△5,197人) (診療日数245日) 768.8人/日(△24.4人/日)
決算の状況	
収益的収支の決算	
収入	6,860,421千円
支出	6,934,359千円
資本的収支の決算	
収入	537,274千円
支出	857,100千円

地方債の状況

会計名	残高
一般	334 億 2,060 万 3,000 円
水道	34 億 4,927 万 6,000 円
下水道	145 億 839 万円
病院	76 億 1,013 万 4,000 円

一時借入金の状況

時価入金の状況	
会計名	借 入 額
一般	0 円 (限度額 100 億円)
水道	0 円 (限度額 1 億円)
下水道	0 円 (限度額 6 億円)
病院	2 億 8,000 万円 (限度額 30 億円)

※当初予算で限度額を設定している合計のみ

※当初予算で限度額を設定している会計のみ

市有財産の状況

区分	数量	市民1人当たり
土地(道路を除く)	657万9,972m ²	54.47m ²
建物	35万3,472m ²	2.93m ²
各種基金(現金等)	93億6,111万円	7万7,491円
各種基金(土地)	16万9,235m ²	1.40m ²
債権・有価証券・出資金	8億9,128万7千円	7,378円
重 量	121台	—

平成 25 年度の 各会計予算

上半期の執行状況

各会計予算の執行状況（繰越分含む）（単位：千円）

各会計予算実行状況(総括分合計)(単位：千円)							
	歳入予算額	収入済額	執行率	歳出予算額	支出済額	執行率	
一般会計	43,583,410	19,279,483	44.2%	43,583,410	17,817,782	40.9%	
特別会計							
国民健康保険	13,437,000	5,824,376	43.3%	13,437,000	5,581,772	41.5%	
後期高齢者医療	1,443,000	505,793	35.1%	1,443,000	469,240	32.5%	
介護保険	8,300,470	3,296,937	39.7%	8,300,470	3,284,044	39.6%	
基本財産基金運用	567,000	2,509	0.4%	567,000	1,740	0.3%	
企業会計	収入予算額	執行額	執行率	支出予算額	執行額	執行率	
水道事業	収益の収支	2,424,233	1,096,960	45.2%	2,259,360	938,929	41.6%
	資本の収支	361,840	6,711	1.9%	1,028,374	547,583	53.2%
下水道事業	収益の収支	2,665,241	1,325,748	49.7%	2,520,578	691,016	27.4%
	資本の収支	1,434,222	53,198	3.7%	2,729,916	1,849,221	67.7%
病院事業	収益の収支	7,313,861	4,046,418	55.3%	7,312,234	3,200,440	43.8%
	資本の収支	1,023,120	355,613	34.8%	1,370,323	444,566	32.4%

平成 25 年 10 月 1 日現在の住基人口 120,802 人

▶決算・予算の詳細 財政課 ☎ 381-1010

※この事業は、ほくでん総合研究所の協力により実施されます。

▼対象／小学校4～6年生。▼参加費／無料。
料。▼定員／40名（先着）。▼日時／1月14
日（火）9時～12時。▼会場／ほくでん総合研究
所（対雁2-1）。※8時50分までに現地集合。
▼持ち物／筆記用具。

申込・詳細 環境課 ☎ 381-1019、申し込
みは12月9日（月）～1月9日（木）の平日8時45分
～17時15分、電話で受け付け。

自然エネルギー実験室 参加者募集



冬休みの自由研究の題材にピッタリ！

皆さんのご理解とご協力を願います。
詳細 環境課環境政策担当 381-1395



年度比で12%（約74万4千kWh）減となり、目標の11%を上回る節電を達成しました。そしてこの冬、国で公表している電力需給対策において、道内では12月9日から3月7日までの期間、平成22年度比で6%以上の節